



ソフトウェアバージョン:	6.00.02B35
サポートエディション:	DV-600S(D-View 6.0 スタンダード) DV-600P(D-View 6.0 プロフェッショナル)
発行日:	2011/10/11

本リリースノートには、D-view 6.0 のソフトウェア更新に関する重要な情報が含まれています。お使いの D-View 6.0 に対応するリリースノートであることを確認してください。

D-View 6.0 に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
アップグレードの手順に関して:	2
ソフトウェアアップグレードに関しての注意事項	2
データのバックアップ方法に関して	3
データのリストア方法に関して	3
ソフトウェアアップグレードに方法に関して	4
追加機能:	8
修正した問題点:	8
既知の問題:	9

変更履歴とシステム要件:

ソフトウェアバージョン	リリース日付	サポート
ランタイム: v6.00.02B35	2011/10/11	<ul style="list-style-type: none"> ・DV-600S (D-View 6.0 スタンダード) ・DV-600P (D-View 6.0 プロフェッショナル)

アップグレードの手順に関して:

D-View Service Pack2 へのアップグレードに関しては、必ず「ソフトウェアアップグレードに関しての注意事項」をご確認の上、「ソフトウェアアップグレード方法に関して」の記載手順にそって、アップグレードを行ってください。

ソフトウェアアップグレードに関する注意事項

1. ソフトウェアのアップグレードを行う前に、システムファイル及びデータベースファイルをバックアップしてください。
「[データのバックアップ方法に関して](#)」を参照の上、バックアップ作業を行ってください。
2. ソフトウェアのアップグレードを行う際に、PC の条件が下記の内容を満たすか否かを確認してください。

	DV-600S(スタンダード)	DV-600P(プロフェッショナル)
CPU	2GHz	
メモリ	1GB もしくはそれ以上	
空き容量	1GB もしくはそれ以上	
対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Windows 2008 R2 with SP1 ・Microsoft Windows 2003 with SP2 ・Microsoft Windows 2000 Server with SP4 ・Microsoft Windows 2000 Advanced Server with SP4 ・Microsoft Windows 7 Enterprise (32 bits) ・Microsoft Windows Vista (32 bits) ・Microsoft Windows XP(32 bits) /Home/Professional with SP2 	<ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Windows 2008 R2 with SP1 ・Microsoft Windows 2003 with SP2 ・Microsoft Windows 2000 Server with SP4 ・Microsoft Windows 2000 Advanced Server with SP4
対応 データベース	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft SQL Server 2000 with SP2 ・Microsoft SQL Server 2005
事前インストールが必要なソフトウェア	下記ソフトウェアが必ずインストールされているかをご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・D-Link D-View 6 with SP1(6.0.01B03) ・Microsoft .NET Framework 3.5 ・Microsoft Report Viewer 2008 Redistributable パッケージ ・Windows SNMP サービス 	

データのバックアップ方法に関して

D-View Service Pack2 へのアップグレードを行う前に、データのシステムファイル及びデータベースファイルのバックアップを行う必要があります。下記の手順を確認し、バックアップを行ってください。

1. 下記のシステムファイルをバックアップファイルとしてコピーしてください。(スタンダード及びプロフェッショナル共通)

C:\Program Files\D-Link\D-Link SNMP Solutions\%smidb.mdb
C:\Program Files\D-Link\D-View\Mibsolution\MIB*.
C:\Program Files\D-Link\D-View\Mibsolution\SMIDB*.
C:\Program Files\D-Link\D-View\Mibsolution\%smidb.mdb
C:\Program Files\D-Link\D-View\delconfig*.
C:\Program Files\D-Link\D-View\%perconfig*.

2. データベースのファイルをバックアップファイルとしてコピーしてください。

【スタンダード】

下記のファイルをコピーしてください。

• C:\Program Files\D-Link\D-View\dvision3.mdb

【プロフェッショナル】

下記のファイルをコピーしてください。SQL Server 2000/2005 を使用している場合はマネージメントツールを使用して、Division3.mdf 及び Division3_Log.ldf のファイルをコピーしてください。

• C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.1\MSSQL\Data\Dvision3.mdf
• C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.1\MSSQL\Data\Dvision3_log.LDF

データのリストア方法に関して

D-View Service Pack2 へのアップグレード終了後、システムファイル及びデータベースファイルのリストアを行う必要があります。下記の手順を確認し、バックアップしたシステムファイル及びデータベースファイルをリストアしてください。

1. システムファイルをバックアップした場所に、各ファイルを上書きし、リストアしてください。(スタンダード及びプロフェッショナル共通)

C:\Program Files\D-Link\D-Link SNMP Solutions\%smidb.mdb
C:\Program Files\D-Link\D-View\Mibsolution\MIB*.
C:\Program Files\D-Link\D-View\Mibsolution\SMIDB*.
C:\Program Files\D-Link\D-View\Mibsolution\%smidb.mdb
C:\Program Files\D-Link\D-View\delconfig*.
C:\Program Files\D-Link\D-View\%perconfig*.

2. データベースファイルをバックアップしたフォルダに、各ファイルを上書きしてください。

【スタンダード】

下記のファイルを上書きして、リストアしてください。

• C:\Program Files\D-Link\D-View\dvision3.mdb

【プロフェッショナル】

下記のファイルをコピーしてください。SQL Server 2000/2005 を使用している場合はマネージメントツールを使用して、Division3.mdf 及び Division3_Log.ldf のファイルをリストアしてください。

• C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.1\MSSQL\Data\Dvision3.mdf
• C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.1\MSSQL\Data\Dvision3_log.LDF

ソフトウェアアップグレードに方法に関して

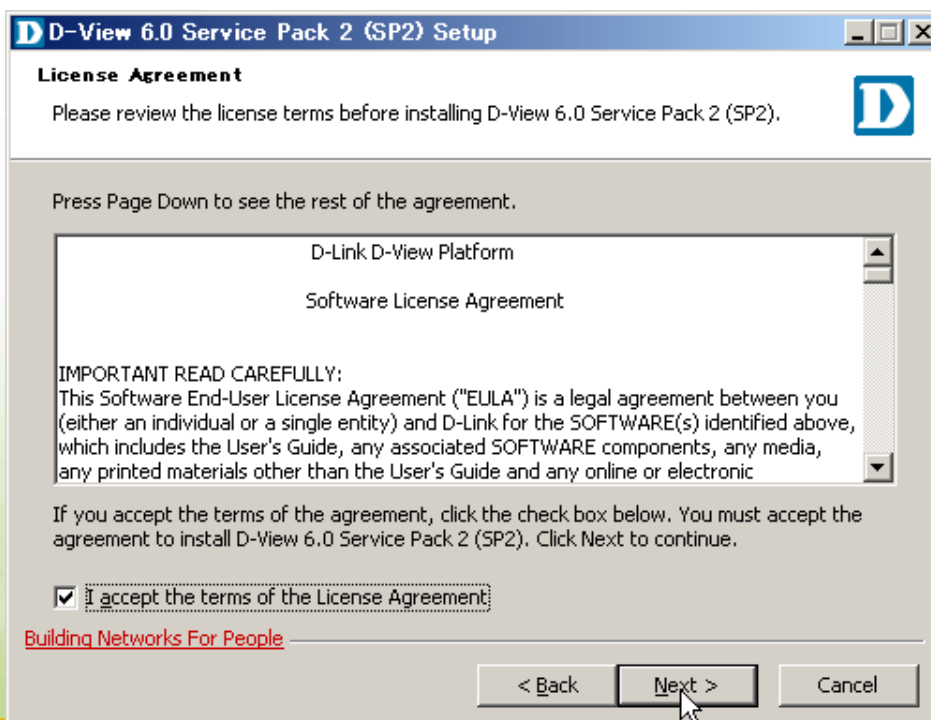
D-View Service Pack2 にアップグレードする際は、必ず「ソフトウェアアップグレードに関する注意事項」をご確認下さい。本説明では、D-View 6.0 スタンダードエディションを用いて説明いたします。

※ソフトウェアのアップグレードを行う前に、「[データのバックアップ方法に関して](#)」を参照し、システムファイル及びデータベースファイルのバックアップ作業を行ってください。

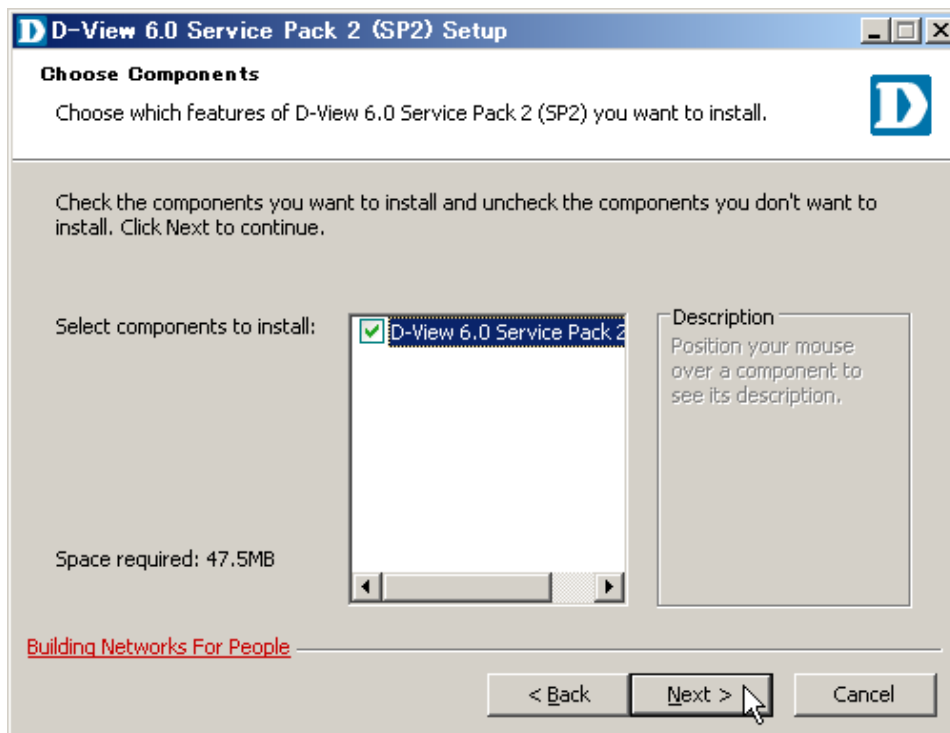
1. D-View Service Pack2 の exe ファイルをダブルクリックすると、セットアップウィザード画面が表示されます。
2. 「Next」ボタンをクリックし、セットアップウィザードを開始します。



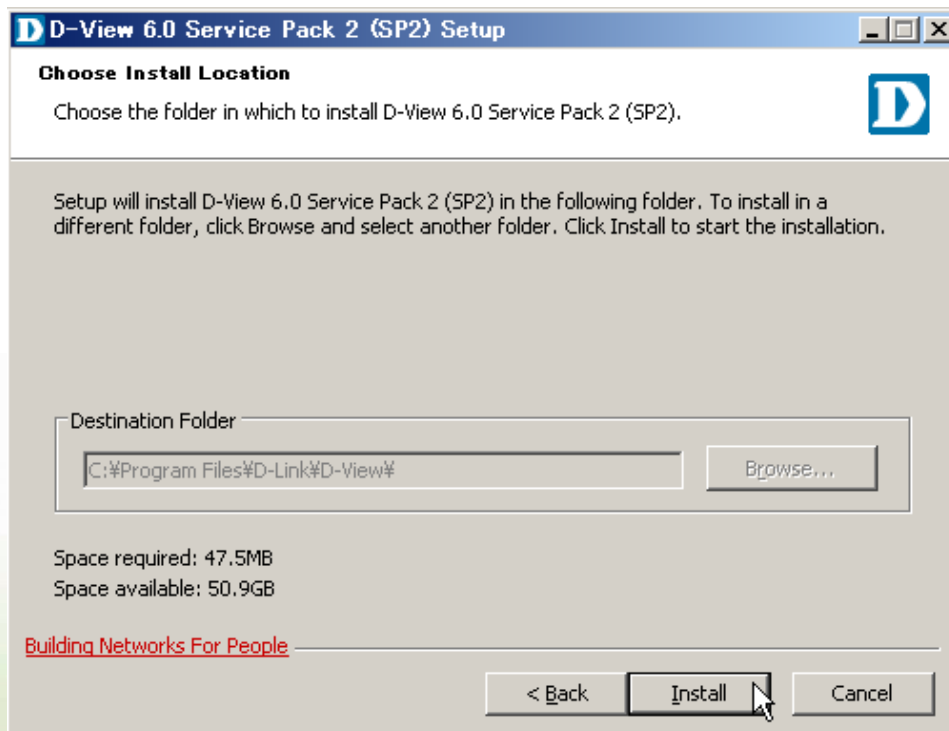
3. 「I accept the terms of the License Agreement」のチェックボックスにチェックをいれ、「Next」ボタンをクリックします。



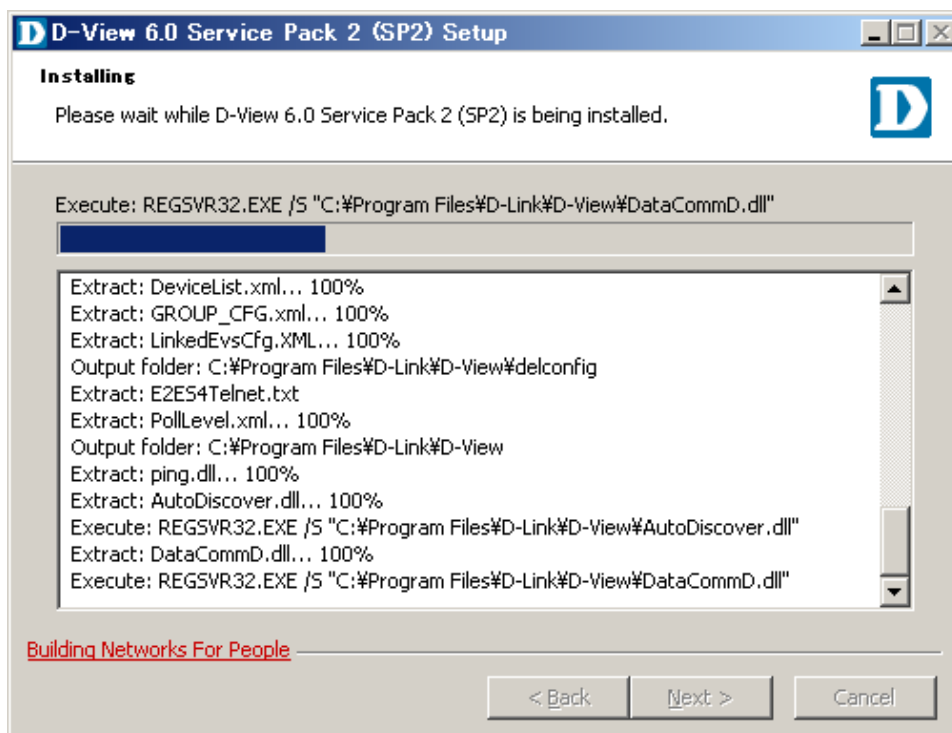
- 「Next」ボタンをクリックします。



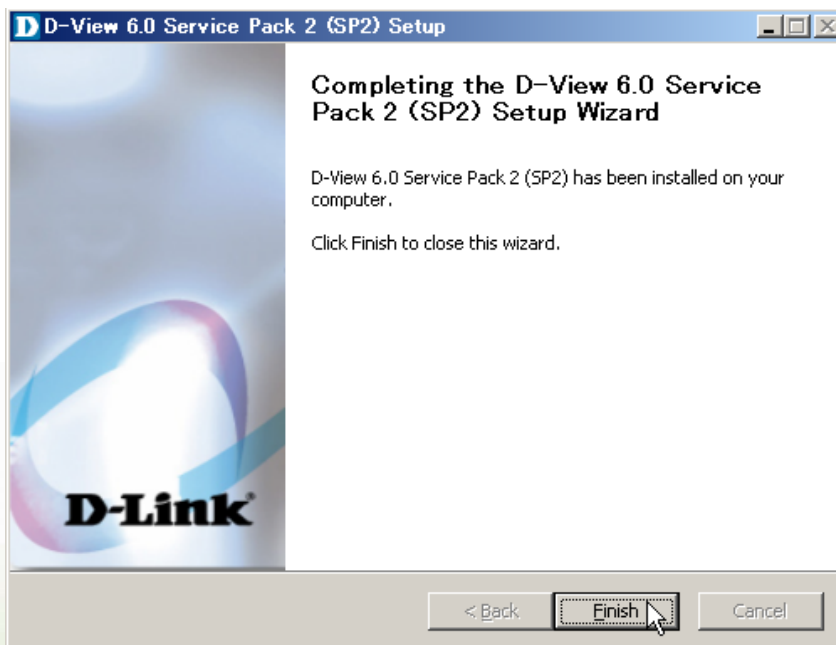
- 「Install」ボタンをクリックして、インストールを開始します。



6. インストール時には下記のような画面が表示されます。



7. インストールが終了すると、下記画面が表示されるので「Finish」ボタンをクリックして終了してください。



8. インストールが正常に終了すると下記画面が表示されるので「Complete」ボタンをクリックして、インストールを終了してください。



※ソフトウェアのアップグレードが終了したら、「[データのリストア方法に関して](#)」を参照し、バックアップしたファイルをリストアしてください。

追加機能:

ファームウェアバージョン	追加機能
V6.00.02B35	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全デバイスのステータスの再確認を行うために、“Reset Polling Status”機能を追加致しました。 2. 複数のネットワークインタフェースに対応致しました。(システム上に1つ以上のネットワークインタフェースが存在する場合、ユーザが使用したいネットワークを選択できるようになりました。) 3. トポロジに管理アクセスポイントを表示するよう対応致しました。 4. トポロジにデバイス名を表示するよう対応致しました。 5. システムリブート後に、D-View へのオートラン機能と自動ログイン機能に対応致しました。 6. CPU/メモリ/ポートのデータを収集するために、“Device Collector”機能を追加致しました。 7. レポートを生成できるレポートツールを追加致しました。 8. 複数のデバイスに設定ファイルを展開できるスクリプトツール機能を追加致しました。 9. バッチ設定とスケジュール機能に対応したバッチ設定機能を追加致しました。 10. L3トポロジの検出機能を追加致しました。 11. バックグラウンドでデバイスを定期的に検出するように、デバイス検出機能を追加致しました。 12. IP アドレス、シリアルナンバ及びファームウェア情報を含むデバイス情報一覧リスト機能を追加致しました。 13. トポロジのリンクの色を変更できるよう対応致しました。 14. ポートによるトラップ通知設定ができるよう対応致しました。 15. Windows XP、Windows Vista、Windows 7 及び Windows 2008 R2 SP1 に対応致しました。 16. 警告と通知を受信するための E メールアドレスを複数登録できるよう対応致しました。 17. トポロジマップで使用するメッシュ型、リング型のタイプに対応致しました。 18. SNMP コミュニケーションで複数のコミュニティ名に対応致しました。 19. D-View にログインできるユーザの権限をより詳細に制御できるよう対応致しました。 20. スタックポートの入力形式(1:1)に対応致しました。 21. ドメインツリーで中国語の文字に対応致しました。 22. より多くの D-Link デバイスに対応致しました。

修正した問題点:

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V6.00.02B35	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファームウェアが大きい場合、ファームウェアのアップグレードに失敗する問題を修正致しました。 2. SNMP コミュニティが“public”に設定されていない場合、D-View が“Topology Generator”を実行時にデバイスが検出できなかった問題を修正致しました。 3. パフォーマンスモニタが DGS-3100 シリーズのデバイスに対して 332 ポートと表示してしまう問題を修正致しました。 4. サポートされていない OS に D-View をインストールする場合、警告メッセージが表示されない問題を修正致しました。 5. “User Locator”ダイアログボックスが閉じるときに、アプリケーションがクラッシュする問題を修正致しました。 6. “file”ダイアログが開いている間、システムが“can't connect database”という警告メッセージを表示する問題を修正致しました。 7. D-View をインストールされていない他の Windows アカウントによってログインされた場合、トポロジのツリーが“root”の代わりに“1”を表示する問題を修正致しました。

既知の問題:

ファームウェアバージョン	既知の問題
V6.00.02B35	<ol style="list-style-type: none">1. 大きなサイズの SNMP パケットを受けた場合、D-View が異常終了する問題。2. Cisco 6506E のデバイスの場合、“Edit device”機能が正常に動作せず、クラッシュする問題。3. 同じサブネット内で2つの異なる IP 範囲を検出するために、トポロジ生成機能を使用すると、D-View は netmap を複製するが、トポロジをエクスポートできない問題。4. デバイス検出における精度及び効率性向上に関する問題。

Copyright 2006–2011 D-link Japan K.K.